

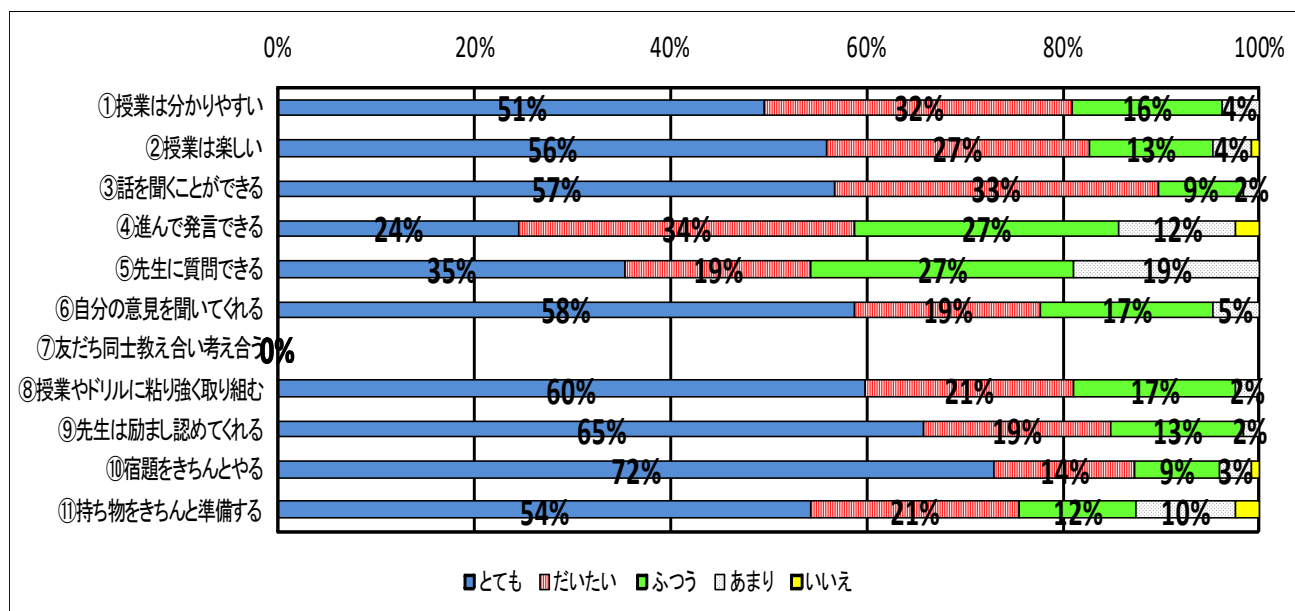
11月には「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。子どもたちに答えてもらったアンケートと、皆様方から寄せられたアンケートの結果を、以下のようにまとめ、考察いたしました。これらの結果を真摯に受け止め、未来を担う子どもたちが健やかに成長するよう、豊丘北小学校の教育を更に充実させるべく努力してまいります。

今後とも、学校・家庭・地域が一体となって、豊丘北小学校の子どもたちのために取り組んでいけるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1 児童によるアンケートのまとめ（11月実施、回答数：127）

1 学習アンケート

【児童による「学習アンケート」の結果】

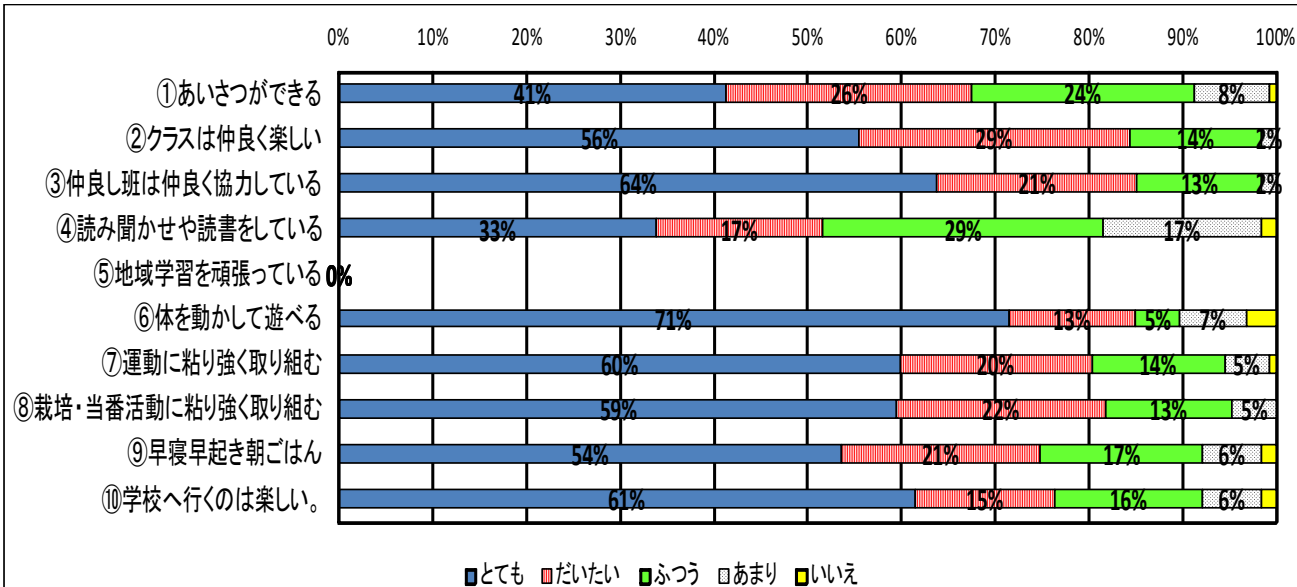


【児童による「学習アンケート」の考察】

- ・「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」と回答している項目が6項目で80%を超えており、全体的に見ると、子どもたちは学習に対して前向きに取り組んでいることが伺えます。特に「③話を聞くことができる」は90%となっており、授業に集中して取り組んできた子どもたちの姿が伺えます。「④進んで発言できる」「⑤先生に質問できる」の項目が低くなっているのは、今年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、友だち同士の教え合いや発言を控え、静かに授業を進めてきたことが影響していると思われます。（項目⑦は今年度は除外しました。）
- ・「⑩宿題をきちんとやる」では、「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」が80%を超えています。宿題はきちんとやろうという子どもたちの意識が定着してきていることが伺えます。これは、生活記録ノートを使って、保護者の方々にもチェックしていただくなど、協力をいただいている成果でもあると考えます。
- ・「⑧授業やドリルに粘り強く取り組む」「⑨先生は励まし認めてくれる」では、「とてもそう思う」「だいたいそう思う」が80%を越えています。教師の声がけや励ましによって、子どもたちが時間いっぱい粘り強く頑張ろうという気持ちで取り組んできたことが伺えます。
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、学習ボランティアやTT教員が教室に入り、子どもたちが分からないときにすぐに質問することができるような体制をとることができませんでしたが、「できた」「分かった」を体感できるようなICT機器の活用を含むさらなる支援や手立てをとっていき、子どもたちが意欲的に学んでいけるようにしていきたいと考えます。

②生活アンケート

【児童による「生活アンケート」の結果】



【児童による「生活アンケート」の考察】

- ・「とても」または「だいたい（そう思う）」と回答した児童が10項目中5項目で80%以上を占めています。「⑩学校へ行くのは楽しい」は、「とても」または「だいたい（そう思う）」で70%を越えています。全体的に見て、児童が楽しく元気に学校生活を送っていることが伺えます。
- ・「②クラスが楽しい」「③仲良し班で楽しく協力して活動できている」は、「とても」または「だいたい（そう思う）」で80%を越えています。子どもたちは、コロナ禍の中で、みんなで一緒に活動したり、過ごしたりすることの楽しさや充実感をあらためて実感することができたのではないかと考えます。また、「⑥体を動かして遊べる」では、85%近くの子どもたちが「とても」「だいたい（そう思う）」と回答しており、校庭や体育館で友だちと一緒に思いっきり遊んで過ごしてきたことが伺えます。さらに、北小伝統の「仲良し班清掃」や「なかよしの日」などにより縦のつながりができ、学年の枠を越えて仲良く遊んだり、元気に体を動かして遊んだりできており、北小のよさの一つとなっています。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、生活科や総合的な学習などの地域学習が計画通りに進めることができなかつたため「⑤地域学習を頑張っている」の項目は除外しました。
- ・「①あいさつができる」は「とても」「だいたい（そう思う）」が70%を越えない結果となりましたが、各クラスでの意識付けに加え、児童会活動の挨拶運動も合わせて行ってきました。学校全体の課題として次年度以降も、進んであいさつができる子どもたちを育てていきたいと考えます。
- ・「④読み聞かせや読書をしている」は、例年同様、全体の中では値が低い結果となりました。職員による読み聞かせ、全校読書、おすすめブック、読書旬間、家庭読書の日等、本に親しむ機会を多く作ってきています。機会があれば、読書を楽しむことができる子ども達ですが、普段の生活の中での読書に向かう意識にはばらつきが見られます。生活リズムを見直し、「ゲームをやめて本を読もう」など読書する習慣を子ども達に身につけさせていきたいものです。今後ご家庭でのご協力をお願いします。
- ・「⑨早寝早起き朝ごはん」についてもばらつきが見られます。「生活リズムチェック」等により、子どもたちが自分の生活を見返す機会を作って参りますが、ご家庭でも意識を高めていただきますようご協力をお願いします。

2 保護者アンケートのまとめ（回答数：124名）

①学校生活に関するアンケート

<アンケート項目>

【柱1】「進んで学び究める子」について

- (1) 子どもの願いや思いを受け止め、何を考えどのように学んでいくかが分かる授業、子どもが主体的に課題を追求していく問題解決的な授業作りができていると思いますか。
- (2) 全職員で統一して取り組む学習に向かう姿勢づくり、学習のねらいの明示と学びの振り返り、チャレンジタイムなどの実施により、確かな学力が定着していると思いますか。
- (3) 分かりやすい教材提示、児童の考えの共有を図るためのICT機器の利用、深く考え議論する道徳への質的転換、外国語教育の充実など、教職員の指導力が向上してきていると思いますか。

【柱2】「仲良く励ましあう子」について

- (4) あいさつなどのコミュニケーションの基本を大事にし、みんなで協力して行う活動により、居場所のある学級づくりを行っています。クラスが楽しく安心できる場所になっていると思いますか。
- (5) 協力・主体性を大事にした認め合う場作りとしての「なかよし班」「姉妹学年」など、学年の枠を越えた活動を大切にしています。思いやりの心が育ち、友だちとの関わりが広がっていると感じていますか。
- (6) 職員による読み聞かせ、おすすめブックや家庭読書の日などで読書の機会を増やし、豊かな心を育てています。読書への関心の高まりが感じられますか。

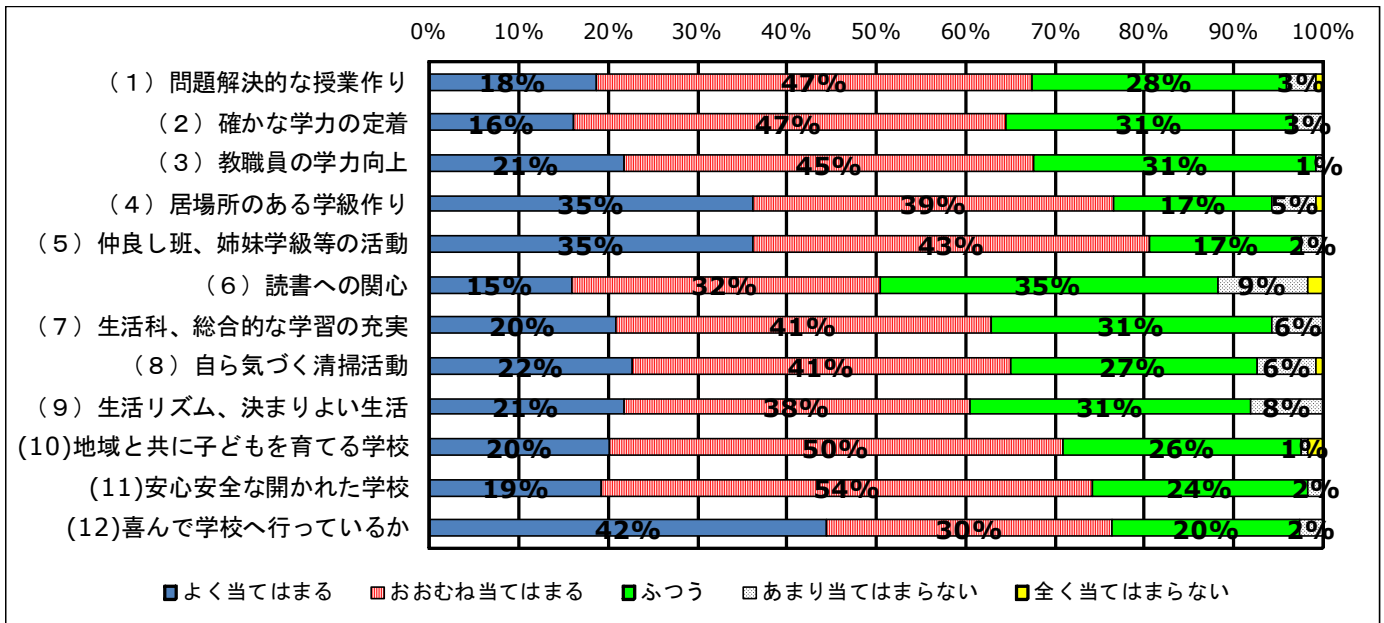
【柱3】「ねばり強く取り組む子」について

- (7) 地域の風土を生かした体験的な学習や、地域素材を生かした総合的な学習や生活科の充実を図っています。ねばり強く取り組んでいる姿が見られますか。
- (8) 学級清掃だけでなく、縦のつながりを大切にした仲よし班による清掃活動を行っています。自ら気づいてきれいにしようとする姿が育っていると思いますか。
- (9) 豊丘村生活リズム運動「早寝早起き朝ごはん」の奨励を受け、家庭と連携を取りながら生活リズムチェックに取り組み、健康教育を推進しています。決まりよい生活習慣が身につけてきていますか。

【学校づくり】について

- (10) 豊丘村のコミュニティースクールとしての保小中連携、学校支援ボランティアの積極的な活用と地域文化の継承（お囃子）を進めています。地域と共に子どもたちを育てる学校づくりが行われていると思いますか。
- (11) 児童アンケート、学校情報の発信、学校評価活動の実施により、安心安全な開かれた学校づくりが行われていると思われませんか。
- (12) お子さんは、喜んで学校へ行っていますか。

【保護者による「学校生活に関するアンケート」の結果】



【保護者による「学校生活に関するアンケート」の考察】

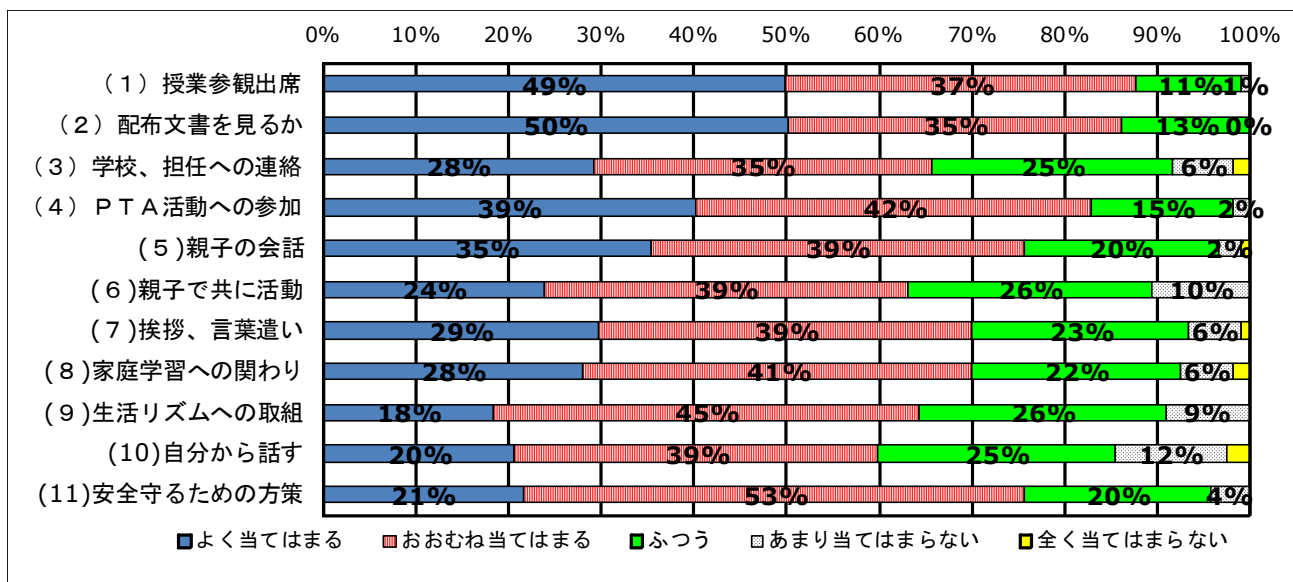
- ・ 100%近い回答をいただき、ありがとうございました。
- ・ 「(1) 問題解決的な授業作り」「(4) 居場所のある学級作り」「(5) 仲よし班・姉妹学級の活動」「(10) 地域と友に子どもを育てる学校」「(11) 安心安全な開かれた学校」「(12) お子さんは喜んで学校へ通っているか」において、70%近いご家庭が「よく当てはまる」または「おおむね当てはまる」と回答していただいております。特に(5)と(12)は高い評価となっています。学校での取り組みを高く評価していただいているものとありがたく受け止め、これらを北小の良さとして捉え、今後も大切にしていきたいと思っております。
- ・ 「(2) 確かな学力の定着」については、比較的低い値となっています。コロナ禍の中、臨時的休業期間もあり、家庭での学習時間が増えたり、学校では遅れた進度を取り戻す学習を行ってきたりしたこともあり、例年通りの評価が難しかったものと考えます。
- ・ 「(6) 読書への関心」「(9) 生活リズム・決まりよい生活」については、「よく当てはまる」または「おおむね当てはまる」が全体の中で低い値となっています。特に「読書への関心」については、昨年度61%だったものが、今年度は47%に低下しています。学校でも課題意識を持って指導をしておりますが、家庭読書の習慣化、生活リズムの見直し等、ご家庭の協力も得ながら行っていきたいと思っております。その他にも、清掃への取り組みは、職員で共通理解の上に立ち、それらの大切さを伝えていけるような指導をし、よりよい教育へと展開していきたいと思っております。

2 家庭生活に関するアンケート

<アンケートの項目>

- (1) 授業参観や学級懇談会には、出席するようにしている。
- (2) 学校から送られてくる文書等に、目を通してしている。
- (3) 子どもの様子に気がかりなことや変化があったときには、担任や学校へ連絡している。
- (4) PTA活動や地域行事に、積極的に参加している。
- (5) 親子で学校生活や友だちのことなどについて、よく話している。
- (6) スポーツや手伝いなど、親子で一緒に活動する機会をとっている。
- (7) あいさつや言葉遣いなど、きちんとできるように指導している。
- (8) 子どもの日々の家庭学習の様子を知り、必要に応じて声をかけている。
- (9) 生活リズムについて意識を高められるように子どもと話し、家庭でも取り組んでいる。
- (10) お子さんは、困ったことや悩み・自分の間違いなどを自分から話してくれる。
- (11) 子どもの安全を守るため親子での約束事を決めるなど、なんらかの方策をとっている。

【保護者による「家庭生活に関するアンケート」の結果】



【保護者による「家庭生活に関するアンケート」の考察】

- ・「(1)授業参観や学級懇談会への出席」、「(2)配布文章の確認」、「(4)PTA活動への参加」は「よく当てはまる」「おおむね当てはまる」の値が高く、保護者の皆様が学校生活や学校行事、家庭学習に高い関心を持ってくださっていることが分かります。子どもたちのためにご協力いただき、本当にありがたく思います。
- ・「(10)困ったことや悩みを自分から話す」については、「よく当てはまる」「おおむね当てはまる」が、昨年度に続き、他の項目に比べて最も少ない値になっています。これには、個人差があり、また年齢によっても変化が見られるようです。家庭生活においてお子さんとの会話を大切にいただき、些細な変化も見のがさず、気がかりな様子が見られた場合は、学校に連絡をお願いします。共に考え、共に育てていく教育を目指したいと考えます。
- ・他にも、「(9)生活リズムへの取組」も、毎年低い値になっています。豊丘村生活リズム改善村民運動のサブテーマにもなっている「早寝早起き朝ごはん、テレビを消して外あそび、ゲームをやめて本読もう」に、学校と家庭で今後も引き続き連携し、取り組んでいきたいと考えます。生活リズムは子どもの健康状態の安定につながるばかりではなく、学習面にも影響することが分かっています。学校でも指導をしていきますが、個人差が見られますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

3 アンケートのご意見をもとに考える北小の教育

多くの保護者の皆様から、北小の学校教育についていろいろなご意見やご感想をお寄せいただき、学校教育に深いご理解をいただいていることを実感いたしました。それらを大事に受けとめ、これから一層伸ばしていきたい「北小の良さ」について、次のように考えました。

○学力が定着するような授業を目指し、児童の主体的な学びを支援していくこと

保護者の皆様から「北小学校は少人数なので、児童とともに先生が熱心に学習に取り組んでいただいているように感じます。」「チャレンジタイムなど、学習の機会をたくさん作ってくれていてありがたいです。子どもがもっとそれに応えられれば嬉しいです。」等、学習に関わってありがたい感想をいくつもいただきました。

北小では、対話のある授業づくりや、確かな学力の定着を目指しています。そのために、子ども同士の「学び合い」を大切に考え、ペア学習やグループ学習を取り入れたり、教師がお互いに授業を公開して研究会を重ねたりすることで、実践力を高めようと努めています。ただ、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、ペア学習やグループ学習を思うように進めることができませんでした。その分、電子黒板や書画カメラ、タブレットなどのICT機器を効果的に活用しながら、子どもたちにより分かりやすい授業を目指してきました。保護者の皆様からも「電子黒板の活用は効率的だと感じた。」「子どもがタブレットを使った授業は楽しいと言っています。」などの感想をたくさんいただきました。ICT機器の活用に関し、これからも研究、研修を重ね、子どもたちのためにより良い授業を提供できるよう努力してまいります。また、例年ですと、授業には学習ボランティアに支援してもらったり、「ぐんぐんタイム」「北小夏季塾」なども行ったりしてきましたが、残念ながら今年度はできませんでした。これらの学習支援の機会を、本校としては大切に考えていますので、感染の状況を考慮しながら、できることをできる範囲で行い、学力向上に向け努力していきたいと考えています。

家庭学習についても、「生活記録ノート」を使用し、保護者の皆様にもご協力いただくことにより、子どもたちに定着してきています。学年に応じて、決まった宿題だけではなく、自主学習も取り入れています。担任からの励ましを続けていくことはもとより、今後とも保護者の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。さらに、主体的な家庭学習への取り組みを目指し、中学校にもつながっていくようなものとなるよう、豊丘三校で連携を図り、そのあり方や支援の方法を探っていききたいと考えています。

○心の交流のよさを生かし、更に明るい挨拶・よい生活習慣が身につくように

保護者の皆様からは「清掃をはじめ、下校時や休み時間に他の子どもたちと関わることが多く、とても楽しそうです。」「なかよし班や姉妹学級での活動により、いろいろな学年の子どもたちと仲良くできていいなと思います。」等「仲良く励まし合う子に関わる取り組みの良さを数多く挙げていただきました。特に「仲よし班」「姉妹学級」での活動は、学年の枠を越えた心の交流や学びができ、北小のよき伝統になっています。また学校生活の基盤である学級においても、今年度はコロナ禍ではありましたが、道徳や学級の時間を中心に、居心地のよい学級集団作りを目指す学習活動を行ってきました。保護者の皆様からは「先生のことも友だちのことも大好きで、その場なら安心してのびのびしている様子がうかがえる。」などの感想もいただきました。今後とも、心の交流に視点を当てながら、子どもたちの心を育てていきたいと考えます。

また、あいさつ週間やあいさつ当番などの取り組みにより、挨拶を学校中に響かせようと児童会が先頭に立って進めてきました。ただ、子どもたちの挨拶については、学年、個々にばらつきが見られるため、今後も家庭と連携をとりながら、進んで気持ちの良い挨拶ができる子どもたちを育てていきたいと考えます。

一方で、「家では本を自分から読みません。」「生活リズムチェックによるきまりよい生活習慣の定着はみられないと思う。意識作りにはなると思うが。」等、「読書習慣」や「生活リズム」についてのご意見もいただいております。これについては、「生活目標」に取り上げて指導したり、保健指導などで生活の見直しをしたりしてきています。子どもたちを取り巻く生活環境は少しずつ変わってきていますので、それを踏まえながら、今後も学校教育活動全般において指導したり、ご家庭や地域の皆さんにもご協力いただいたりしながら、よい生活習慣作りに取り組んでいきたいと考えます。

○学校・家庭が共に育てる、ねばり強い子

お囃子、豊丘太鼓、おやす作りなど、地域の風土を生かした体験的な学習や、竹、桃、米など地域素材を生かした総合的な学習や生活科の充実を目指し、学習にねばり強く取り組む子を目指したいと考えます。また、今後も北小のよさの一つでもある仲良し班清掃を継続しながらも、仲良し班清掃のやり方を見直したり、学年清掃で掃除の仕方をしっかり指導したりし、自ら気づいてきれいにしようとする姿につなげたいと考えます。また、豊丘村生活リズム改善村民運動「早寝早起き朝ごはん」の奨励を受け、生活について考え決まりよい生活習慣が身につくよう取り組んできました。これに対しては「メディアオフの時間や食育の日のおかげで、普段から気をつけるようになった。」「生活習慣を村として取り組むことにより、親も努力しようという意識が出て良いと思います。」といったご意見もあれば、「過度な生活リズムチェックは親も負担である。」「生活リズムチェックの取り組みは良いと思いますが、形式的になっていたり、守れない項目についての取り組み方法など、フォローができていないように感じます。」といったご意見も寄せられました。過度な負担にならないよう生活リズムチェック表を見直し、家庭と連携を取りながら、生活リズムチェックに取り組み、健康教育を推進していきたいと考えます。今後も目標に向かってねばり強く取り組む活動を大事にし、「心身ともにたくましい子ども」を目指したいと考えています。

○地域と共に育てる、安心安全な開かれた学校

今年度は、お囃子子ども会や、生活科、総合的な学習の時間が計画通りに行うことができなかつたため、地域の方々との交流やふれあい、地域の素晴らしさを感じ得る機会をとることができませんでした。保護者の皆様からは「コロナが終息した時には引き続きやってほしいです。豊丘ならではのこともたくさんあるし、子どもにとって良い経験になると思います。」など、地域との積極的な関わりに対する前向きなご意見をたくさんいただきました。学校としても次年度以降、地域との繋がりを大切にし、心豊かな子どもたちを育てていきたいと考えています。

また、児童アンケートの実施分析、相談の日による児童理解と支援体制の充実、児童や学校情報の発信、学校評価活動なども実施してまいりました。今後も、確かな力や豊かな心の育成、安心安全な開かれた学校づくりを目指し、子ども達が安心して学校へ通えるよう、地域との連携を深めていきたいと考えています。